

2025年度

「お客様本位の業務運営」に関する取組み状況報告

※ 本取組状況報告における【原則】については、金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」に対応して表示しています。

静岡県労働金庫



Home Page: <https://shizuoka.rokin.or.jp/>

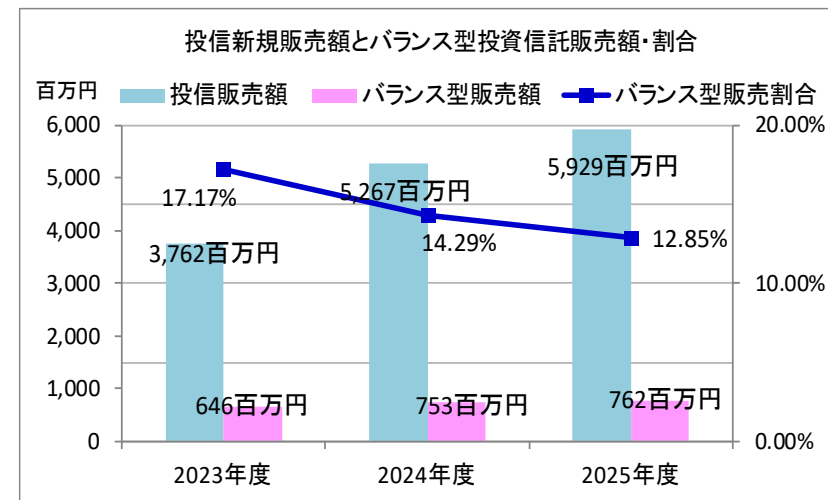
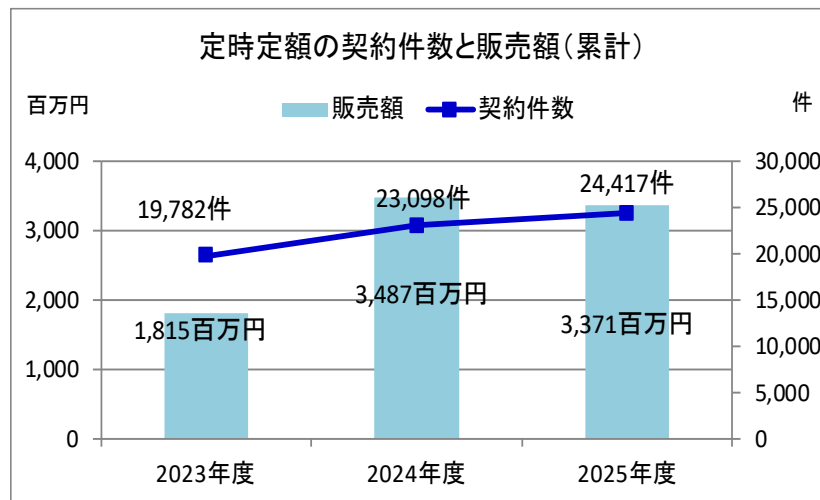
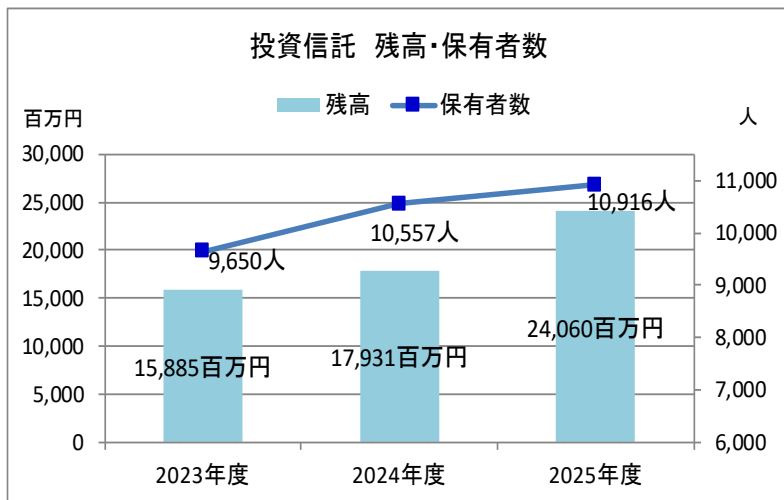
1. 「〈静岡ろうきん〉お客様本位の業務運営に関する取組方針」の策定・公表【原則1】

- ・ 〈静岡ろうきん〉(以下、当金庫)はお客様本位の業務運営の強化に向けて、金融庁が2017年3月に公表し、2024年9月に改正した「顧客本位の業務運営に関する原則」を全て採択し、「お客様本位の業務運営に関する取組方針」(以下、本方針)を策定します。
- ・ 本方針および本方針に係る取組状況は、ディスクロージャー誌、ホームページに掲載し公表します。
- ・ 本方針に掲げる取組状況は定期的に検証し、必要に応じて本方針を改正します。

顧客本位の業務運営に関する原則 (金融庁)	お客様本位の業務運営に関する取組方針 (静岡ろうきん)	対応 ページ
原則1 【顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等】	1. 「〈静岡ろうきん〉お客様本位の業務運営に関する取組方針」の策定・公表	P 2
原則2 【顧客の最善の利益の追求】	2. お客様の生活を生涯にわたってサポートすることを第一に考えた取組み	P 3～8
原則3 【利益相反の適切な管理】	3. 利益相反を適切に管理する取組み	P 9
原則4 【手数料等の明確化】	4. 手数料等に係る情報提供の取組み	P10
原則5 【重要な情報の分かりやすい提供】	5. お客様の立場に立ったわかりやすい情報提供の取組み	P11～14
原則6 【顧客にふさわしいサービスの提供】	6. お客様にふさわしいサービス提供の取組み	P15～16
原則7 【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】	7. 「ろうきんの理念」の職員への定着と実践に向けた取組み	P17

2. お客様の生活を生涯にわたってサポートすることを第一に考えた取組み【原則2】

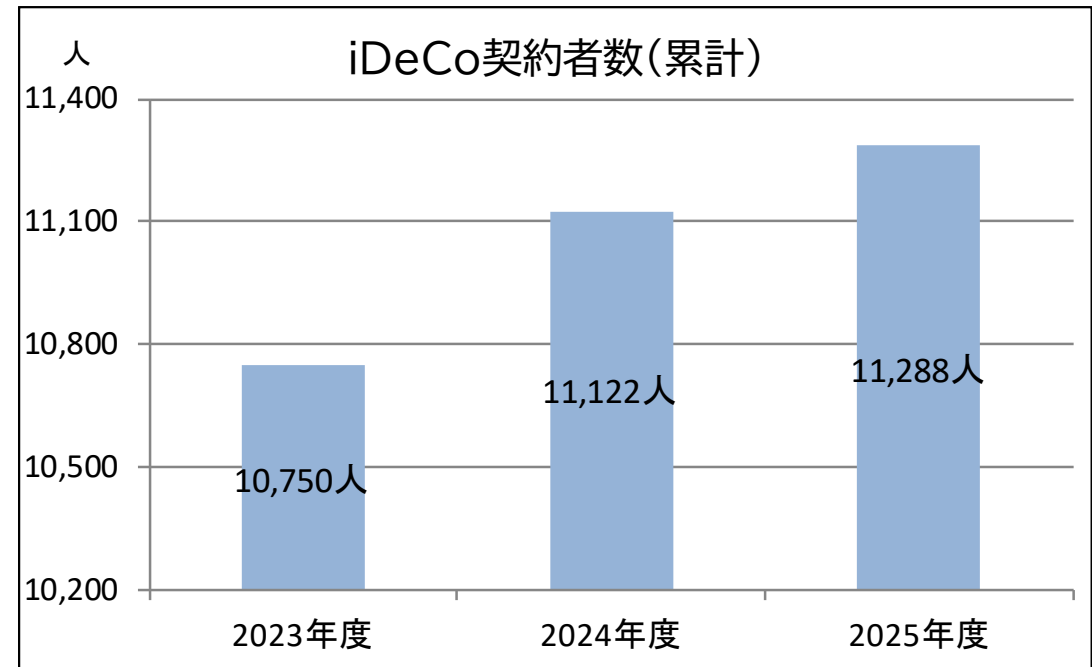
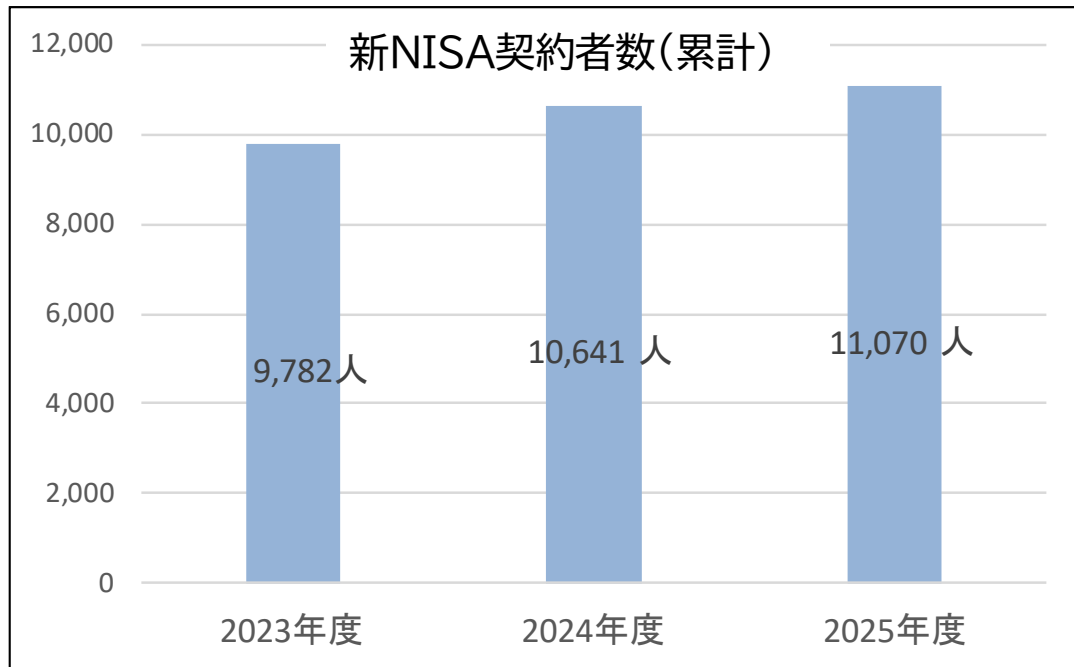
- 当金庫は、お客様の最善の利益の実現に向け、お客様のライフプランやニーズ、金融知識、投資経験、資産状況、投資目的等を丁寧に確認し、お客様一人ひとりに適した資産形成・資産運用をご提案しています。
- 当金庫は、各営業店に資産運用の担当者として「マネーアドバイザー」を配置し、お客様からの相談ニーズにお応えする体制を整える等により、投資信託の保有者数は着実に増加しています。
- お客様に対しては、それぞれのライフプランにおけるニーズを踏まえ、時間、資産の分散投資を考え方の基本に、積立投資(投資信託の定時定額買付)による中長期的な資産形成を提案しています。定時定額買付は、最低購入金額を1,000円からとしており、お客様には投資を始めやすく、投資信託の購入時期を分散させる「ドル・コスト平均法」にて、平均購入単価を安定させる効果が期待できます。



2. お客様の生活を生涯にわたってサポートすることを第一に考えた取組み【原則2】

- 当金庫では、税制面のメリットを活かせる長期積立の手段として、「個人型確定拠出年金(iDeCo)」、「NISA」の提案を行っています。
- 2024年1月にNISA制度には長期・積立・分散投資に適した「つみたて投資枠」と、まとまった資金で一括買付するなどの柔軟な投資も行える「成長投資枠」が創設されました。2025年度においても、NISA制度の有効活用のご提案を継続し、ご契約者数が順調に増加しました。
- 当金庫は、NISA制度を活用した職場の福利厚生制度「職場つみたてNISA[※]」の取扱金融機関です。

※ 職場つみたてNISAは、職場という身近な場を通じて、NISAを利用した資産形成ができるよう、事業主が利用者(役職員等)を支援する、福利厚生の増進を図ることを目的とした制度です。



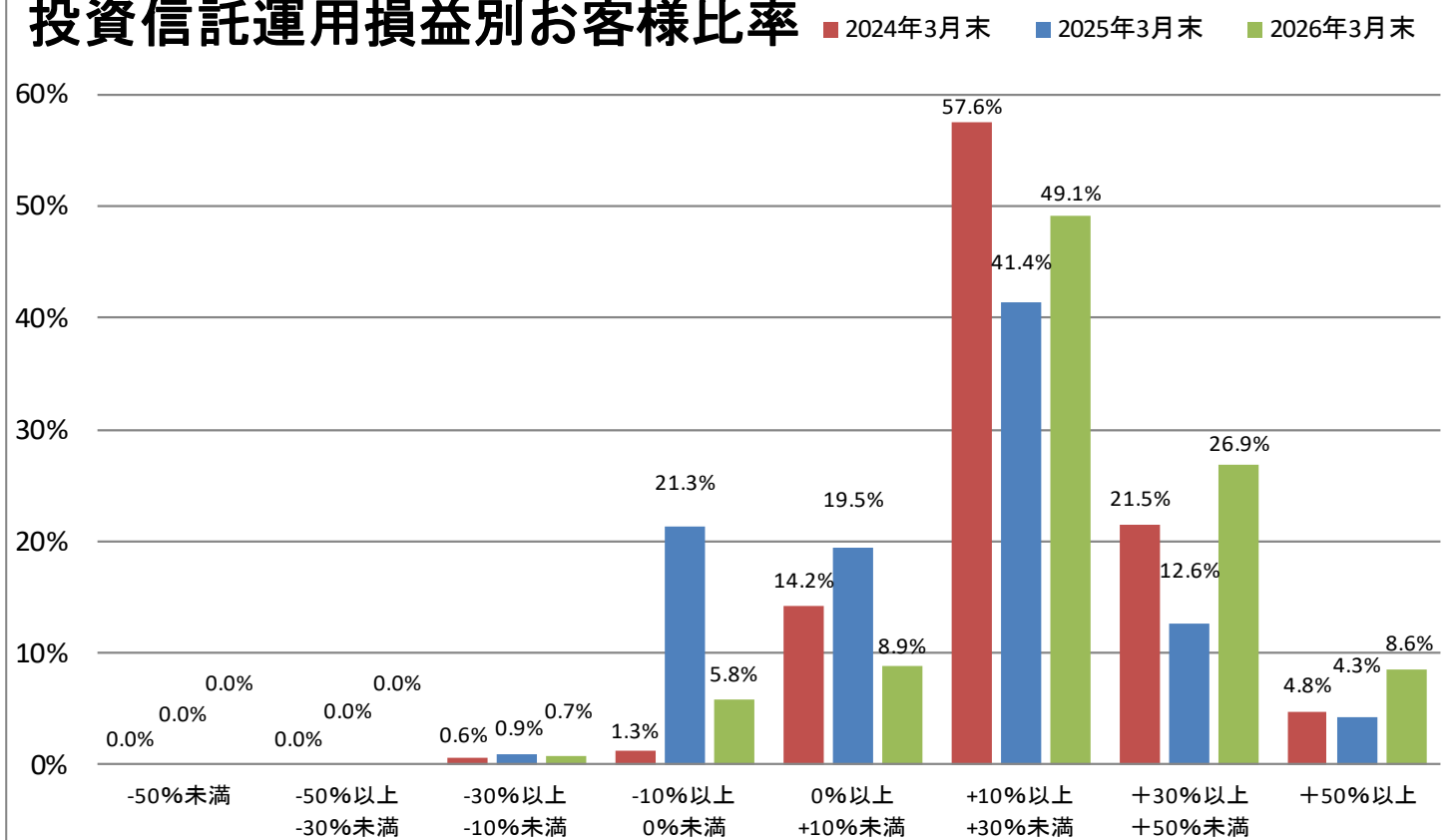
【共通KPI】 投資信託 運用損益別顧客比率

- 投資信託を保有するお客様について、基準日時点でお持ちの投資信託に係る購入時以降の運用損益を算出し、運用損益区別に表示しています。
- 投資信託の運用損益がプラスのお客様の割合は、2026年3月末現在、全体の**93.5%**となっています。

2026年3月末時点

運用損益の区分	人数	比率
-50%未満	1	0.0%
-50%以上-30%未満	1	0.0%
-30%以上-10%未満	77	0.7%
-10%以上0%未満	631	5.8%
0%以上+10%未満	968	8.9%
+10%以上+30%未満	5,363	49.1%
+30%以上～+50%未満	2,936	26.9%
+50%以上	937	8.6%

投資信託運用損益別お客様比率



【共通KPI】 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン（2026年3月末）

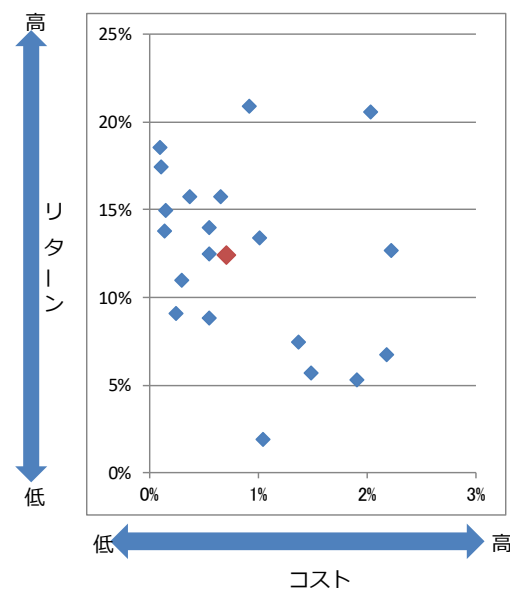
- 設定後5年以上経過している投資信託の残高上位20銘柄※を対象とします。
※ DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除きます。
- 2026年3月末現在では、上位20銘柄中、すべての銘柄でリターンがコストを上回っています。

投資信託預り残高上位20銘柄の一覧

2026年03月末時点

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	8.19	5.69
2	たわらノーロード 先進国株式	0.10	14.50	18.57
3	たわらノーロード 日経225	0.14	17.48	13.78
4	たわらノーロード 全世界株式	0.11	13.71	17.44
5	eMAXIS NYダウインデックス	0.66	14.13	15.72
6	つみたて8資産均等バランス	0.24	8.26	9.07
7	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38	8.25	7.44
8	iFree 新興国株式インデックス	0.37	13.58	15.75
9	ファイン・ブレンド（毎月分配型）	1.91	5.94	5.30
10	eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	0.55	11.59	14.01
11	インデックスファンド225	1.01	17.48	13.37
12	eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	0.55	8.14	8.85
13	iFree TOPIXインデックス	0.15	12.57	14.94
14	eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	0.55	10.36	12.51
15	ダイワ好配当日本株投信	2.04	13.13	20.54
16	インデックスファンドJリート（東証REIT指数）毎月分配型	1.05	9.98	1.92
17	たわらノーロード 先進国リート	0.30	16.61	11.01
18	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22	16.77	12.69
19	インデックスファンドNASDAQ100（アメリカ株式）	0.92	20.59	20.89
20	Oneワールド・リート・インカム・オープン（毎月決算コース）	2.18	15.49	6.71

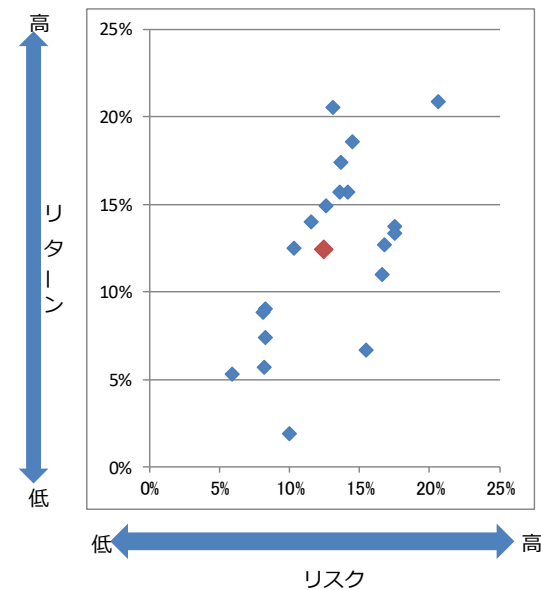
投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.71	12.45

コスト	全体	販売手数料率の1/5 + 信託報酬率
	販売手数料率	取扱い時の最低販売金額での料率
	信託報酬率	実質的な信託報酬率の上限
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）	

投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.46	12.45

リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）

リスク・リターン出所：株式会社NTTデータ・エービック
Copyright (C) 2026, NTT DATA ABIC Co., Ltd. All rights reserved.

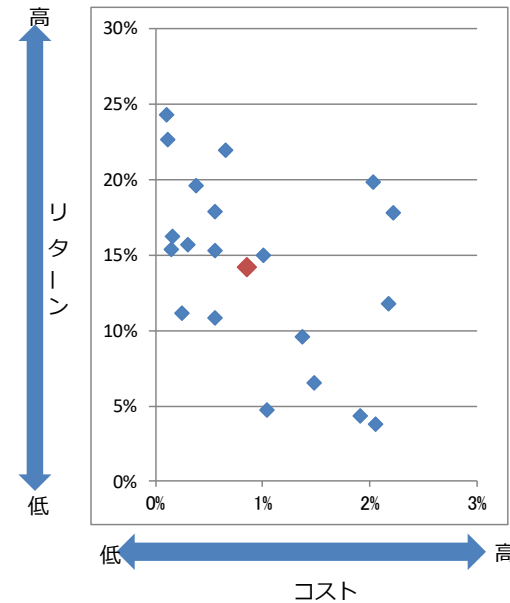
【共通KPI】 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン（2025年3月末）

投資信託預り残高上位20銘柄の一覧

2025年03月末時点

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	7.71	6.56
2	たわらノーロード 先進国株式	0.10	15.27	24.29
3	たわらノーロード 日経225	0.14	15.63	15.39
4	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38	8.39	9.60
5	eMAXIS NYダウインデックス	0.66	15.28	21.96
6	たわらノーロード 全世界株式	0.11	14.20	22.66
7	つみたて8資産均等バランス	0.24	8.10	11.13
8	ファイン・ブレンド（毎月分配型）	1.91	5.09	4.31
9	インデックスファンド225	1.01	15.62	15.00
10	eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	0.55	8.04	10.86
11	iFree 新興国株式インデックス	0.37	13.63	19.58
12	eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	0.55	11.52	17.86
13	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22	16.77	17.80
14	iFree TOPIXインデックス	0.15	12.34	16.20
15	eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	0.55	10.34	15.30
16	ダイワ好配当日本株投信	2.04	11.64	19.85
17	DIAMワールド・リート・インカム・オープン（毎月決算コース）	2.18	16.44	11.77
18	たわらノーロード 先進国リート	0.30	17.14	15.65
19	ニッセイ健康応援ファンド	2.05	12.97	3.76
20	インデックスファンドリート（東証REIT指数）毎月分配型	1.05	10.90	4.76

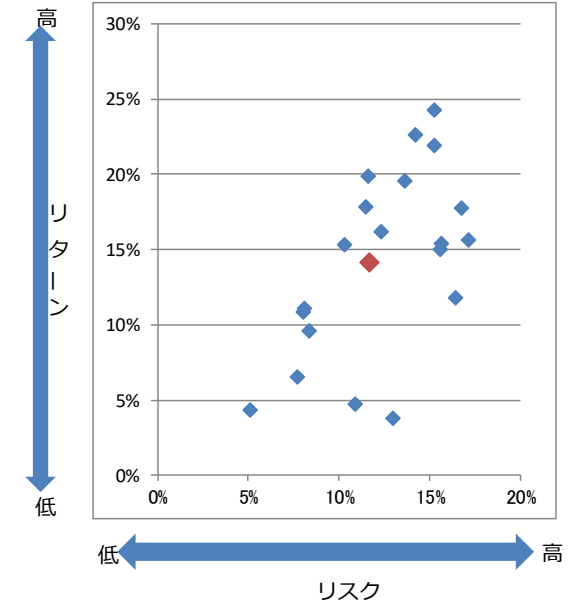
投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.85	14.17

コスト	全体	販売手数料率の1/5 + 信託報酬率
	販売手数料率	取扱い時の最低販売金額での料率
	信託報酬率	実質的な信託報酬率の上限
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）	

投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	11.69	14.17

リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）

リスク・リターン出所：株式会社NTTデータ・イービック
Copyright (C) 2025, NTT DATA ABIC Co., Ltd. All rights reserved.

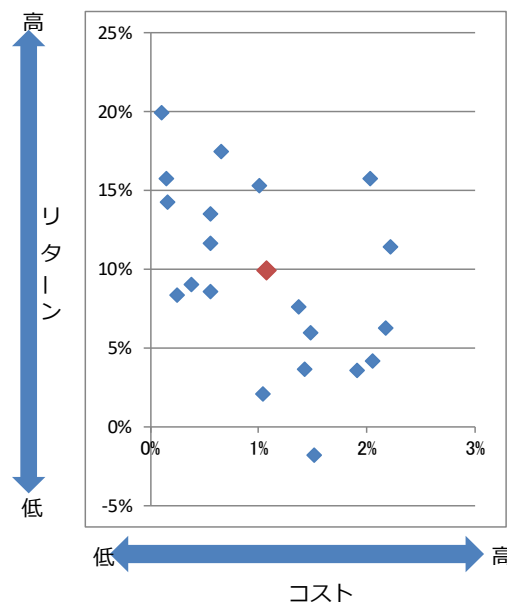
【共通KPI】 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン (2024年3月末)

投資信託預り残高上位20銘柄の一覧

2024年03月末時点

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49	9.28	5.94
2	たわらノーロード 先進国株式	0.10	17.20	19.90
3	たわらノーロード 日経225	0.14	17.03	15.75
4	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.38	10.06	7.59
5	eMAXIS NYダウインデックス	0.66	17.26	17.48
6	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91	5.33	3.55
7	インデックスファンド225	1.01	17.02	15.33
8	つみたて8資産均等バランス	0.24	10.38	8.35
9	eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	0.55	9.68	8.62
10	eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	0.55	14.24	13.53
11	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.22	18.94	11.41
12	iFree 新興国株式インデックス	0.37	18.34	9.01
13	ニッセイ健康応援ファンド	2.05	14.22	4.16
14	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)	2.18	20.49	6.30
15	ダイワ好配当日本株投信	2.04	14.87	15.74
16	トレンド・アロケーション・オープン	1.51	7.82	-1.80
17	インデックスファンド Jリート	1.05	15.27	2.06
18	eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	0.55	12.81	11.66
19	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.43	8.31	3.64
20	iFree TOPIXインデックス	0.15	14.23	14.27

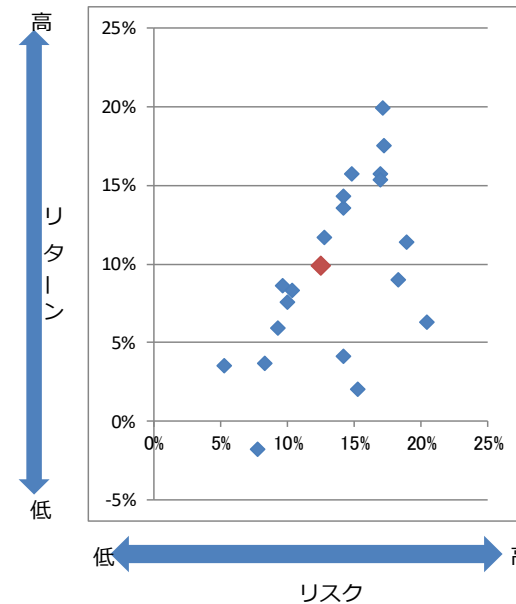
投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.07	9.91

コスト	全体	販売手数料率の1/5 + 信託報酬率
	販売手数料率	取扱い時の最低販売金額での料率
	信託報酬率	実質的な信託報酬率の上限
リターン	過去5年間のトータルリターン(年率換算)	

投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.57	9.91

リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)
リターン	過去5年間のトータルリターン(年率換算)

リスク・リターン出所: 株式会社NTTデータ・エービック
Copyright (C) 2024, NTT DATA ABIC Co., Ltd. All rights reserved.

- 当金庫の商品・サービスの最良な提案を目的として、当金庫が定めた「利益相反管理方針※」のもと、内部規程を整備し、適切に管理・運用しています。お客様の金融に関する正当な利益を確保するため、金庫内に利益相反管理に関する責任者、担当者および統括部署、担当部署を設置し、当金庫全体の情報収集、対象取引の特定など、適正な利益相反管理に向けた体制を整備しています。
- また、これらの管理を適切に行うため、職員に対する研修・教育を実施し、金庫内において適正な利益相反管理について周知・徹底しています。
- 当金庫が取扱う投資信託の商品は、外部機関による評価、モニタリングを定期的に行い、利益相反の管理も含め中央機関である労働金庫連合会において、販売する商品の基本的な利益(リターン)、損失その他のリスク、取引条件、選定理由、手数料水準等が適切であることを確認しています。それら審議・選定されたものの中から、当金庫にて適切性を審査したうえで商品を選定しています。
- 労金業態のグループ会社として、投資信託運用会社や保険会社は存在しないことから、グループ会社の商品を優先的に推奨・販売することはありません。

※ 利益相反管理方針(https://shizuoka.rokin.or.jp/about_rokin/housin/souhan/)



- お客様の金融商品の取引経験や金融知識を把握のうえ、販売・推奨等を行う金融商品・サービスについて、重要な情報が理解できるように記載した「重要情報シート(個別商品編)」等の資料を用いて、その複雑さやリスクに見合った、丁寧な情報提供を行っています。

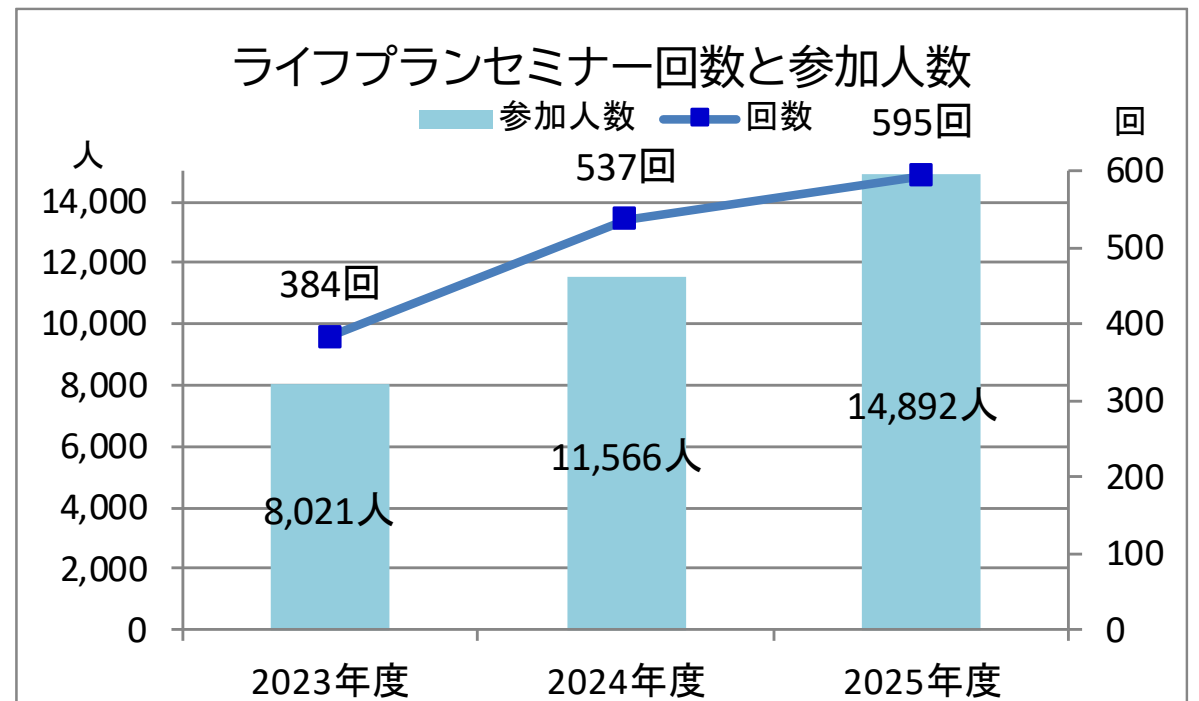
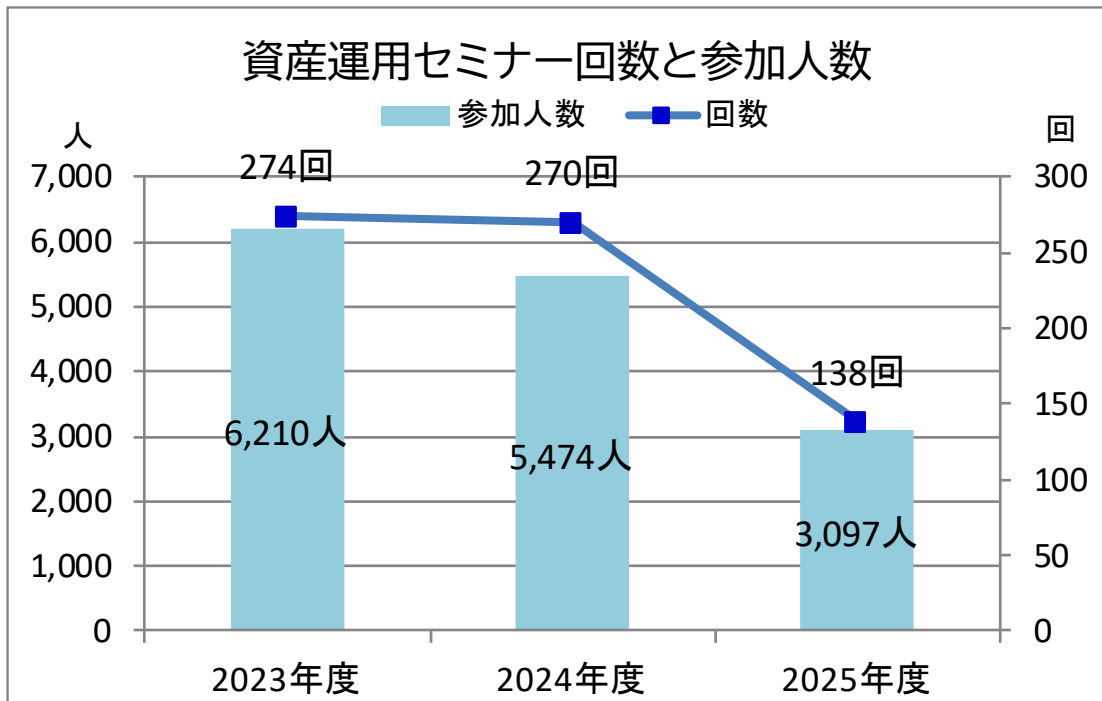
重要情報シート (個別商品編) 作成日: 2026年04月08日	
財産3分法ファンド(不動産・債券・株式) 毎月分配型	
1 商品等の内容 (当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています)	
金融商品の名称・種類	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式) 毎月分配型
組成会社(運用会社)	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
販売委託元	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	主として、不動産、債券、株式に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざします。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	○中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方。
パッケージ化の有無	複数の投資信託に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」のパッケージ商品です。これらの投資信託を個別の商品として購入することはできません。
クーリング・オフの有無	金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
<p>以下のような質問があれば、お問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ろうきんが提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らしてふさわしいという根拠は何ですか？ ・この商品を購入した場合、どのようなアフターサービスを受けることができますか？ ・この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがありますか？ 	
2 リスクと運用実績 (本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)	
損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主に不動産投信、債券および株式を実質的な投資対象としますので、不動産投信、債券および株式の価格の下落や、不動産投信、債券および株式の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。(以下に限定するものではありません。)
(参考) 過去1年間の収益率	19.6% (2026年3月末現在)
(参考) 過去5年間の収益率	平均7.2% 最低-9.0% (2022年12月) 最高26.9% (2026年2月) (2021年4月～2026年3月の各月末における直近1年間の数字)
※損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目録見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目録見書の「運用実績」に記載しています。	
<p>以下のような質問があれば、お問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。 ・相対的にリスクが低い類似商品があれば、その商品についても説明してほしい。 ・この商品を購入した場合の最大利益額、最大損失額はどのくらいか説明してほしい。 	
3 費用 (本商品の購入又は保有には、費用が発生します)	

【重要情報シート(個別商品編)】※一例

拡大

2 リスクと運用実績 (本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)	
損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主に不動産投信、債券および株式を実質的な投資対象としますので、不動産投信、債券および株式の価格の下落や、不動産投信、債券および株式の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。(以下に限定するものではありません。)
(参考) 過去1年間の収益率	19.6% (2026年3月末現在)
(参考) 過去5年間の収益率	平均7.2% 最低-9.0% (2022年12月) 最高26.9% (2026年2月) (2021年4月～2026年3月の各月末における直近1年間の数字)
※損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目録見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目録見書の「運用実績」に記載しています。	
<p>以下のような質問があれば、お問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。 ・相対的にリスクが低い類似商品があれば、その商品についても説明してほしい。 ・この商品を購入した場合の最大利益額、最大損失額はどのくらいか説明してほしい。 	

- 計画的な資産形成等、お客様の金融リテラシーの向上に資するため、情報提供に努めました。職域でのセミナー開催等、対面での情報提供に加え、Webも活用し、各種セミナーを開催しました。
- お客様の生活を生涯にわたってサポートすることを考え、各年齢階層に応じたライフプランニング、資産形成に関する情報提供を目的とした「ライフプランセミナー」を開催し、参加者は14,000人を超えました。2024年1月の「NISA制度」改正の情報提供として需要のあった「資産運用セミナー」は、制度の周知が進み、回数、参加人数とも減少しました。



- 当金庫ホームページには、投資信託を購入されるお客様向けの「投資信託特設サイト※1」や、老後の資産形成に役立つ確定拠出年金(DC)の詳しい制度紹介として「ろうきんiDeCoスペシャルサイト※2」等へのリンク表示を設け、リスクや運用のポイント等、投資に役立つ情報をわかりやすく掲載しています。
- また、アフターフォローとして「オンライン資産運用セミナー」の開催や、iDeCoをご契約のお客様へ「iDeCo加入者継続セミナー」を動画配信(HP掲載)し、利用者に必要な情報提供を行っています。

【投資信託特設サイト※1】



※1 投資信託特設サイト (<https://shizuoka.rokin.or.jp/uno/toushishintaku/>)
 ※2 ろうきんiDeCoスペシャルサイト (<https://rokin-ideco.com/shizuoka/index.html>)

【ろうきんiDeCoスペシャルサイト※2】



【iDeCo加入者継続セミナー】



- 投資信託のご提案に際しては、お客様の知識や投資経験、資産状況、投資目的等を確認させていただいたうえで、お客様説明用パンフレット「資産形成＆投資信託ガイドブック」、「投資信託ラインアップ」等を活用して、各ファンドの特徴や投資対象、投資目的等を丁寧に説明しています。
- ご高齢のお客様に対する投資信託の販売に際しては、より丁寧な説明と、厳格な適合性の判定および意思確認(複数回の面談および当金庫役席者の同席等)を行い、販売・推奨の適切性を慎重に判断しています。
- 「NISA制度」について、ろうきん「NISAガイドブック」を活用し、制度変更の情報提供や、個別相談を実施しました。

資産形成の始めかた

自分合った方法がわかる!

資産形成とは、将来のために必要なお金を準備することです。マイホームや教育資金、充実したセカンドライフへの備えなど、その目的は人によってさまざまです。「なぜ、なんのためにお金を準備するのか?」考えながら、自分に合った方法で資産形成を始めましょう。

STEP1 ゴールまでの距離で考える資産形成の方法

資産形成の方法には「貯蓄」と「投資」の2種類があります。一般的に「貯蓄」はお金を蓄えることで、預金などが挙げられます。「投資」とは利益を期待して投資信託などで運用することを指します。

STEP2 目的別に利用できる金融商品・制度をチェック!

貯蓄 毎月、自分で決めた金額を毎月定額で積み立てます。定期預金による積み立てなら完本保証で安心。さらに元金1,000万円までその利息は損保保証額(「マイイイ」)の対象です。

貯蓄 積み立てたお金の運用先は、その運用成績に基づいて給付額が決定される年金制度です。元金無償型商品(定期預金・保険等)や投資信託で構成される商品タイプAから選択します。

投資 投資から生じる配当金や利益金が投資額を上回る形で、毎月決まったお金をコツコツ積み立てる「つみたて投資信託」ともよびお金で一生購入可能な「成長投資信託」の2つの種類があり、投資信託だから必ずしも利益を確保し運用します。

NISA

STEP3 「いま」の自分に合った資産形成の方法を確認してみよう!

START 資産形成のために必要な期間は、どれくらいをイメージしますか? YES NO

④ 5年以内 ⑤ 5年~10年程度 ⑥ 10年以上

旅行やちょっとした大きな買い物に必要なお金が必要なお金に20万円以上はある

次のいずれかに当てはまる
① 単身世帯
② パートと共働き
③ 子供が独立している

セカンドライフの資金は、公的年金や退職金で十分まかなえる見込み

毎月コツコツ決まった金額を貯めるだけでなく、運用による利益が必ず出るなど、お金にも働いてもらいたい

元金割れのリスクを恐れず、リターンによって積極的な資産形成を行いたい

大きな出費の予定もないので、定年退職まで資産が引き出さなくても問題ない

身近な目標に向けて、確実に③万円貯めたい! **タイプ1**

お金にも働いてもらいたいから、効率的に資産を増やしたい! **タイプ2**

豊かなセカンドライフのため、コツコツ地道に準備したい! **タイプ3**

★タイプ別の「つみたて」3万円の資産配分★

近い将来のまとまった支出や、老後の生活と準備したいなら、貯蓄型商品を中心とした短期の資産形成がおすすめです。

余剰資金があるなら、より大きなリターンが期待できる投資信託を中心に1年~長期での資産形成がおすすめです。

「長期」分を「積立」によってリスクをコントロールしながら、成長を期待する資産に投資することで、お金にも働いてもらいます。

セカンドライフの資金が不安なら、公的年金や退職金に追加で確定拠出年金(DC)を中心とし、時間をかけて無理なくコツコツ資産形成するのがおすすめです。

確定拠出年金(DC)は、投資信託だけでなく、定期預金などの元金保証型商品も選択できます。

資産配分(%)

タイプ	確定拠出年金 (DC)	投資信託	定期預金
タイプ1	10.00%	15.00%	75.00%
タイプ2	20.00%	25.00%	55.00%
タイプ3	15.00%	35.00%	50.00%

ライフプランにあわせたシミュレーションなら...

年代または積立目的を入力することでおすすめの資産配分をご提案します。シミュレーションでは、銘柄別、NISA、iDeCoの効率的な活用方法、資産配分に沿ったワンポイントアドバイスで、将来の積立総額にも活用します。ぜひご利用ください!

スマートフォンから簡単アクセス!

はじめてみよう!

ろうきん NISA

少額投資非課税制度

ガイドブック

未来のために コツコツ 資産形成

ROKIN NISA GUIDE BOOK

目次

- ライフプランニングと資産形成 2
- NISA制度のキホン 3
- 「つみたて投資信託」のポイント 4~5
- 「つみたて投資信託」の商品ラインアップ 6~9
- 「成長投資信託」のポイント 10~11
- NISAに関する疑問をチェック! 12

ライフプランニングと資産形成

長寿化が進む現代では、ライフスタイルも多様化。お金が必要になるタイミングや金額は、人それぞれ異なります。理想のライフプランを実現するためには、**資産形成**について考えることが重要です。

20円 30円 40円 50円 60円 70円 80円 90円

どんな仕事をしたい? 興味・趣味は? マイホームは? 何歳まで働く? 退職後はどんなことがしたい?

資産形成には、お金を貯めて必要資金を蓄える「貯蓄」と、将来のために利益を見込んでお金を出す「投資」の2つの方法がありますが、そのときの資産状況や今後のライフプランなどに適した形で使い分けが大切です。

投資には元本割れのおそれもありますが、「長期」「積立」「分散」といったポイントを押さえることでリスクを軽減し、安定的な資産形成が期待できます。

長期投資 金融商品の価格変動に一喜一憂せず、長い目で保有を繰り返す!

積立投資 定期的に一定金額ずつコツコツ積み立てよう!

分散投資 投資する対象(資産)をバランスよく分散しよう!

- 当金庫は、お客様への適切な金融商品等の勧誘・募集を行うため、「金融商品に関する勧誘方針※1」「共済募集指針※2」「保険募集指針※3」等を定め、お客様一人ひとりの資産状況や金融商品の取引経験、商品知識や取引目的、ニーズ等を把握のうえ、長期的な視点にも配慮した、お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供に努めています。
- お客様一人ひとりの健全な生活設計への支援に向け、中長期的な視点での資産形成に向けたアドバイスや、子育て・教育・マイホームなどライフステージの資金ニーズに良好な商品でお応えするため、また多様化するお客様の金融ニーズに的確に応えるために、預金、融資なども含めて既存商品・サービスの見直しや商品開発・選定を行っています。
- 当金庫は、投資信託などの投資性金融商品の組成は行っていません。金融商品の選定においては、プロダクトガバナンス(お客様の最善の利益に適った商品提供を確保する枠組み)の実効性を確保するため、金融商品の組成に携わる金融事業者の取組み等について検証し、多様化するお客様の金融ニーズに的確に応じていきます。
- 当金庫は、投資信託の販売後においても、お客様へ適時、情報提供等のアフターフォローを実施しています。お客様が保有する各ファンド毎の投資金額に対して30%以上の評価損が発生し、かつトータルリターン(運用収支)においても評価損が発生した場合には、当該金融商品の運用状況を説明する等、お客様の意向に基づいた適切な対応に努めています。
- また、投資信託をご利用中の「75歳以上」の全てのお客様にアフターフォローを実施、お客様の健康状態や投資判断に係る記憶力や理解力等を確認しながら、きめ細やかな情報提供とお客様の状況把握に努めています。

投資信託商品ラインアップ (2026年3月末現在)

種別	取扱い商品数	うちノーロード	うちつみたて投資枠
債券	12	5	0
国内	2	2	0
海外	6	3	0
内外	4	0	0
株式	26	10	8
国内	9	3	2
海外	10	6	5
内外	7	1	1
バランス	25	2	6
国内	1	0	0
海外	1	0	0
内外	23	2	6
REIT	8	2	0
合計	71	19	14

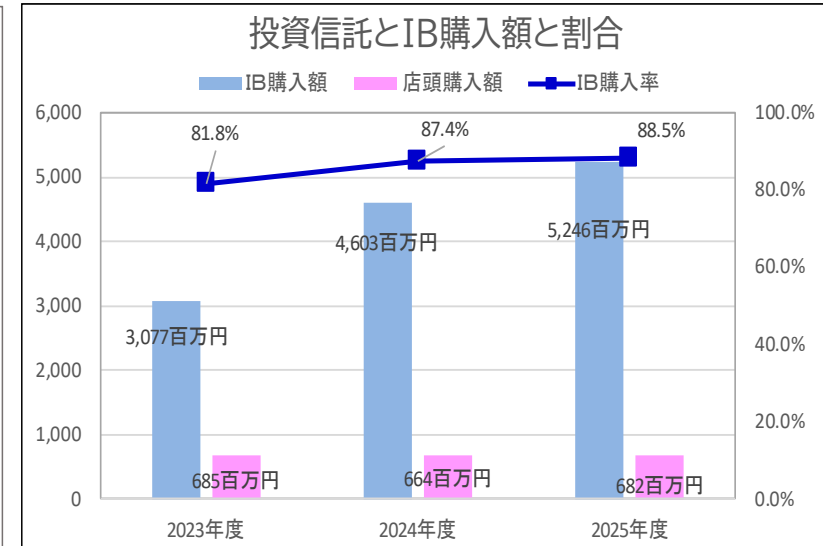
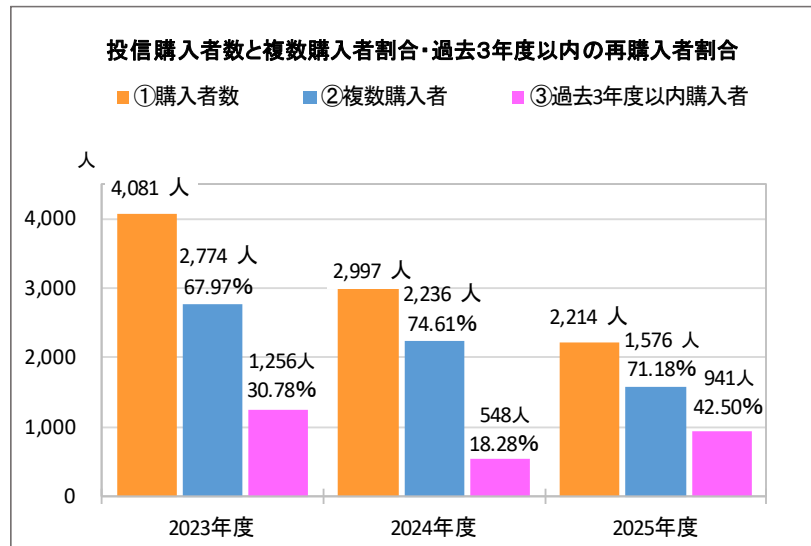
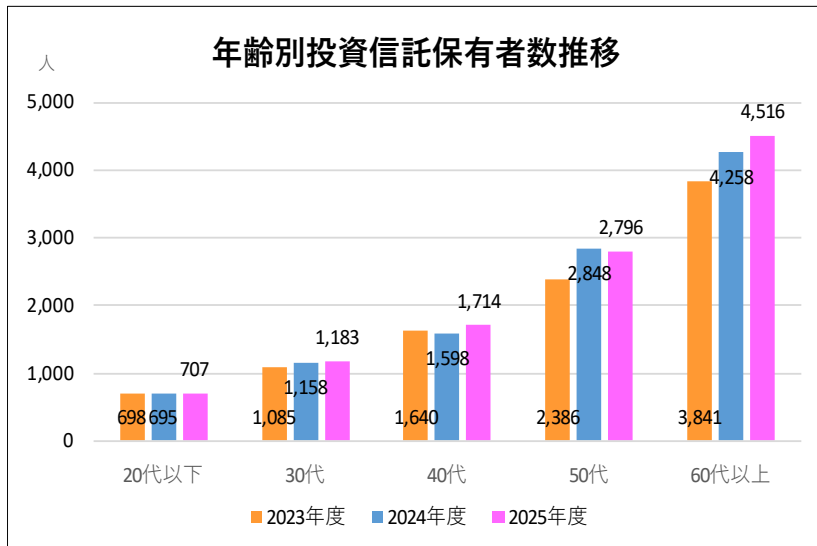
※うちESG関連商品は、8商品。

アフターフォローの対象基準	回数(延べ)	対象人数
30%以上の評価損かつ運用収支も評価損のお客様へのアフターフォロー実績	119回	117人

(2025年4月～2026年3月)

※1金融商品に関する勧誘方針
 (https://shizuoka.rokin.or.jp/about_rokin/housin/kanyu/)
 ※2共済募集指針
 (https://shizuoka.rokin.or.jp/about_rokin/housin/kyosaiboshu/)
 ※3保険募集指針
 (https://shizuoka.rokin.or.jp/about_rokin/housin/hokenboshu/)

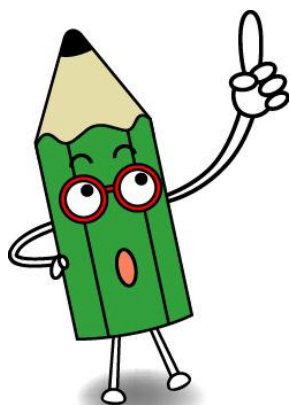
- 当金庫の方針に沿った取組みがお客様に支持され、幅広い年齢層で投資信託を保有いただいています。これは、お客様一人ひとりのライフプランに基づく生活設計支援の取組みが、お客様から支持された結果と考えております。
- お客様が当金庫での投資信託購入に満足いただいていることの1つの指標として、当初購入から3年以内に購入している方(リピーター)の割合を検証しています。なお、預金金利の上昇を踏まえた適正な資産配分の提案、お客様ご自身の検討により、金融資産における定期預金等の配分を高める動きが見られ、投資信託の購入者数は減少しています。
- 当金庫では、対面でのご相談やお手続きに加えて、「インターネットバンキング(IB)投資信託」のサービスを提供しており、お客様にとって利便性の高い非対面サービスの充実にも努めています。2025年4月からは、IBによる投信口座開設がWebで完結できるサービスを開始しています。
- 金融商品の複雑さやリスク等の特性等に応じて、お客様の最善の利益を実現するため、購入されたお客様の状況や反応等(個人情報を除く)を金融商品の組成に携わる金融事業者と情報連携することで、取扱商品と相談・販売体制の充実に取り組んでいます。



* 該年度の「投信購入者数(①)」と、「①のうち複数商品(定時定額含む)購入者割合(②)」および「①のうち過去3年度以内購入者の再購入者割合(③)」

- 「ろうきんの理念」の定着に向け、全国労働金庫協会が主催する「理念研修」を受講し、その実践に努めています。
- 当金庫は「福祉金融プロフェッショナル※」を目指すべき職員像と定め、商品・業務知識や相談スキルを向上させることを目的とする階層別研修を実施し、お客様の状況やライフステージに応じた適切な相談、提案を実践できる職員の育成に取り組んでいます。なお、職員評価制度の業績評価項目においては、投資信託等の販売金額や手数料については評価対象としていません。
- 当金庫は、金融商品や投資環境に関する職員の知識向上を図るため、「FP技能士」「DCプランナー」等の資格取得の奨励・支援を行っています。
- 業務を支援するため専担部署にて常時モニタリングを実施し、必要な情報提供や検証を行い、相談体制を整備しています。
- 「お客様本位の業務運営に関する取組方針」や取組状況については、全職員へ周知しています。また、お客様の声を収集するための専用システムで常時モニタリングを行い、VOC (Voice Of Customer) ミーティングで、お客様の声を商品やサービスに反映する体制を整えています。

※ 「福祉金融プロフェッショナル」…金融機関職員として幅広い知識を持ち、勤労者の金融ニーズに応える「金融のプロ」と、会員・関連団体との協働・連帯を通じて運動と事業の発展に貢献する「労働者自主福祉運動のプロ」を兼ね備えた(ろうきん)職員を目指すべき姿。



金融商品関連の職員向け庫内研修・
自主福祉運動・理念等研修受講者数(延べ)

	2023年度	2024年度	2025年度
庫内研修 (店内研修含む)	546人	529人	540人
自主福祉運動 理念等研修	96人	84人	116人

F P ・ D C 等資格保有者数

	2023年度末	2024年度末	2025年度末
F P 1 級	16人	14人	15人
F P 2 級	339人	327人	337人
D C 1 級	5人	4人	4人
D C 2 級	75人	72人	75人
認知症サポーター	507人	476人	468人